

みあさづくり



ヤギさん、かわい〜♡

くり

ふわふわだー！
とっても気持ちいいよ！！

6月4日、3年生はヤギと触れ合いました。「ヤギに会ってみたい」という子どもたちの願いを受けて、大町でヤギを飼っている方が連れてきてくれました。

子どもたちが玄関に出ると、ヤギが校門の前に来ていました。子どもたちは声をあげて駆け寄っていきました。オスヤギの「クロくん」、メスヤギの「メリーちゃん」、その子ヤギの3頭です。

草を食べさせたり、リードを持って一緒に走ったりと、思い思いに触れ合いました。子どもたちは自然に「うわー、食べてくれたよ」「手、なめてくれた」「足はやい！ついていけないよ」とか、子ヤギを抱っこすると「ふわふわだー！」「やわらかいね」「あったかーい」と感じたことを言葉にしていました。お別れ

の時、軽トラックにのせられたヤギを追いかけて、坂をかけおりていく姿が印象的でした。

今、子どもたちは、学校にヤギを迎えようと、自分たちの力で小屋を建てています。子どもたちは、飼い主の方へ貸してもらおうお願いをした時「できることは、自分たちでしたいです」と頼もしく言いました。その気持ちを大切にこれからのヤギの飼育に向かっていきたいと思っています。

(文責 3年担任 野本 和幸)



2020. 7



facebook



ホームページ美麻Wiki

令和2年度の地域づくり活動始まる

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、各部会の活動も自粛となっていました。6月に入り、イベント等の開催基準が緩和されたことから、6月4日には広報部会を開催し、副会長に柏原亜衣さん（みあさ保育園保護者会）が選出されました。

6月11日には事業部会を開催して、事業の実施方針を決定し、地域づくり会議が主催するイベントについては、長野県の示すロードマップに基づき8月以降のスケジュールで調整することとなりました。



事業部会（6/11開催）

美麻地域づくり委員を委嘱



大町市は6月3日、美麻地域づくり委員会の委員を、13人の市民の皆さんに委嘱しました。

地域づくり委員会は、市民と行政が共に手を携え、持続可能な地域社会をつくるため市町村合併を機に美麻・八坂両地区に設置されています。任期は2年間で、地域住民の意見や要望を取りまとめ、市政に反映させるため活動していきます。

当日は、これまでの過疎対策の評価や今後の地域振興について、市が委員会に諮問しました。委員会での審議を経て、12月に答申する予定です。

美麻地区の振興に関する住民意識調査にご協力ください

美麻地区においては、少子高齢化、人口減少が深刻となっております。このたび、美麻地域づくり委員会は、大町市長より過疎地域の振興に関する事項について意見を求められました。

そこで、美麻地域づくり委員会では、美麻地区を元気にするための地域づくり事業について、住民意識調査を行い、次の3つの視点から調査・検討することとしました。

（3つの視点）

1. 美麻地域で実施している地域づくり事業をどのように発展させるか
2. 現在取り組んでいる事業のうち、どの事業を重視すべきか
3. 新たな地域づくり事業について、どのように取り組むべきか

この調査は16歳以上の住民の皆様を対象に「美麻地区において、新たに期待する地域づくり事業」についての意見をお聞きするものであり、持続可能な地域づくりのための重要な基礎資料となるものです。



つきましては、大変お忙しいなか誠に恐縮ですが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

調査票は、6月末までに送付する予定です。お手元に届きましたらご記入いただき、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて返送してください。

返送期限は、令和2年7月15日（水）です。

《コミュニティ・スクールの話題》

～1年生と新山留生を迎える会～



ようこそ 美麻小中学校へ。
これから1年、よろしくね！



1年生と新山留生を迎える会が5月28日（木）に開かれました。4年生の天愛さんと時澄さんを中心に、全校のみんなが歓迎の気持ちで企画した会です。コロナウィルスへの対応も考えながら、どうしたら新しい仲間喜んでもらえるか、真剣に考えて作った会です。

お花やリングで華やかに飾られた体育館。自治会長の愛奈さんからの「困ったことがあったらなんでも相談してね」という安心の言葉。

2年生が1年生の入学祝に一生懸命作ってくれたスーパーカーのプレゼント。新しい環境に身を置き、少し緊張気味の1年生や新山留生にとって、その全てがとても嬉しいものでした。1年生と新山留生も、みんなの前でしっかりと自己紹介ができ、心温まる会になりました。これから1年間、全校のみんなでなかよく楽しく活動できそうです。（文責：1年担任 竹村沙織）

【子どもたちの感想】

・ならぶときに、みんなに ならぶ じゅんばんをおしえてあげられた。ちょっと きんちょうしちゃったから、次の発表ではきんちょうしないでできるようにがんばりたい。

（天愛さん）

・いつもより きんちょうしないで できた。ほうそうが うまくできた。紙をけっこう見ていたから、次はあまり見ないようにしたい。

（時澄さん）

「バドミントン部」励んでいます



5月12日、長野県中学校体育連盟から「中学校総合体育大会中止」の連絡が入りました。今回のコロナ禍において、子どもたちの命を守るためには大切な処置だったと思います。

しかし、今年、全身全霊をかけて挑もうとしていた中学3年生にとっては非情の判断と言ってもよいと思います。

美麻小中学校の運動部活動はバドミントン部のみです。バドミントンは室内で行われ、シャトルが風の影響を受けないよう窓を閉め切って行われます。観戦する人数も多く、まさに「3密」です。スポーツの特性上、非常に開催が難しいところでしたが、中信中体連として様々な対策を練ったうえで、より広域の大会にはつながらない中信大会を開くことができるようになりました。無観客試合という形になりますが、現在は7月に行われるその大会に向けて練習に取り組んでいるところです。今後とも応援のほどよろしく願いいたします。

（バドミントン部顧問 松原大輝）

《コミュニティ・スクールの話題》

“社会力”を高めましょう ～美麻市民科はじめの会～



「“社会力”とは、筑波大学名誉教授の門脇厚司さんが唱えた言葉で、『人と人が互いに相手に関心と愛着と信頼をもち、それを下地に協力して社会というものを作り、その運営に積極的にかかわり、もっといい社会を作るために汗を流そうとする意欲のことであり、またそのための工夫や新しい案を考え実行することができるさまざまな

資質や能力のこと』をいいます。美麻小中学校の5～9年生で実施される市民科は、その資質や能力を培う時間です。そのために地域のことを知り、地域の課題を見だし、それを自分たちなりの解決に向けた学習をします。」

以上の言葉は、5月21日・22日の両日に三密を避けるために5・6・7年と8・9年に分けて、スクールパートナーズの皆さんも参加していただき開催した、市民科はじめの会での言葉です。

今年も子どもたちが学校を飛び出して美麻地区をフィールド（場合によっては美麻さえ飛び出します）として学習を進める予定です。その際は、ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、温かくお迎えいただければ幸いです。なお、現段階での各学年のテーマは5年生「米づくり」、6年生「美麻のお宝発見」、7年生「美麻の課題を解決するために（仮題）」、8年生「花MAME（株）」、9年生「美麻カルタをつくろう」となります。ご協力のほどお願いします。

（文責：矢口 高士）

花豆とともに「人脈」も育てたい！

～花MAME（株）栽培やります！～

昨年度に引き続き「花MAME株式会社」として活動を始めました。

今年度こそは自分たちで花豆を育てたいと思い、地域の北澤さんや支所の川上さん、前川さんと共に栽培を開始しました。皆熱心にメモを取りながら、話を聴きました。

4月から作業で、一番の難関はネットがけでした。鳥よけのネットですが、左右の長さが合わなかったり、からまったりして、難航しました。しかし、困るたびに地域の方々からアドバイスをいただき、なんとか完成しました。

今年度の目標である「人脈を広げる」の「人脈」の力、深さを実感しました。

「とても勉強になり、たくさんのコツをつかみました。堆肥の量は「適当」「どっさり」という加減がなかなかわからなかったですが、一緒に活動しながら学ぶことができました」（8年生）

ネットがけを通して、地域の方々との人脈が、ネットが広がるかのように広がり、深まりました。これからも応援よろしくお願いします。

（花MAME株式会社 代表取締役社長 阿久津 幸太）



《地域の話》

水は冷たくて気持ちいい！



真夏のようなセミの鳴き声とともに、子どもたちの水あそびが始まりました。「今日はお水あそびするよ!」と言うと、「やったあ!」と、おおはりきりで支度をしました。スコップでボールやスポンジをすくったり、水でっぼうでカブトムシ的に当てたりと好きなあそびを楽しんでいました。そのうち友だち同士で容赦なく水をかけあったり、滑り台に水を流してウォーターライダーをやり始め、「さすが、みあさの子はダイナミック!」と感じました。真水のホースでトンネルをつくってあげると、くぐらす水を浴びにきた子もいました。子どもたちの歓声が響きわたり、一足先に夏を満喫した子どもたちでした。プールびらきが待ち遠しいです。(みあさ保育園)

PTA草刈りボランティアのお礼



6月6日に行われた草刈りボランティアへのご協力、ありがとうございました。本年度は新型コロナウイルスの影響により、例年のようなPTA作業は中止となりましたが、安全に学校生活ができるように草刈り作業のみ行いました。作業の範囲が広がったのですが、保護者の方、地域の方、学校職員合わせて30名を超える方にお集まりいただき、予定していたすべての場所の作業をすることができました。ありがとうございました。

暖かくなり、たくさんの植物で覆われていた学校の周りが、皆さんのご協力により、きれいに、さっぱりとしました!美麻小中学校へのたくさんのお力添えを感じるとともに、地域の皆さんの大

きさを感じる草刈り作業となりました。子どもたちにも、地域の方の協力を伝えながら、外での活動を楽しみたいと思います。(美麻小中学校PTA)



美麻小中学校PTAより地域の皆様へ

日頃、美麻小中学校のPTA活動にご理解・ご協力をいただきありがとうございます。例年、賛助会員の皆様には、協力金として500円を集めさせていただいておりましたが、今年度につきましては新型コロナウイルス感染防止のために計画をしていた事業を縮小することから、協力金を徴収しないことにいたしました。

来年度以降につきましては、昨年までと同様の事業計画に戻し、協力金を集めさせていただきたいと思っております。今後も変わらぬご理解とご協力をお願いいたします。

令和2年6月

美麻小中学校PTA会長 倉品 秀也



大町民話の里づくりもんぺの会

美麻の口碑伝説

～語り継ぐ郷土の心～



昔のことを回想するということは、とても脳に刺激を与えることなのです。

2018年度的美麻地区の介護予防教室において依頼を受けて、もんぺの会の中島と丸山は各地区へ出向きその地域の民話の語りをする事になりました。

以前より美麻村誌（民俗編）や北安曇郡郷土誌稿（昭和初期に信濃教育会北安曇郡部会発行）を資料として美麻地区に伝わる民話や口碑伝説を調べまとめてきたものから、それぞれの地域のお話をさせてもらいました。その際に、介護予防教室に参加された方々からもいろいろなお話が伺え、とても興味深く事業ができました。

ゆかりの場所を回り写真を撮り、みなさんに見ていただき、同じ区内でも知らない場所も多くあったようです。また、私たちも知らなかった謂れの場所を教えていただき、現地に行き写真を撮り、また仏像なども見せていただきました。

これを契機に、美麻小中学校の先生方から、もっと美麻地区のことが知りたいと、職員研修のご依頼をいただき、千見から全地区を駆け足でしたが巡りました。

その研修資料として作った中から順番に地域のみなさんにご紹介していきたいと思えます。
（大町民話の里づくりもんぺの会 文責：丸山）

口碑伝説「一」千見本村中 下条家に伝わる民話

猫檀家

昔々、小川村の古山の法蔵寺に任職三代に可愛がられていた一匹の猫がいた。

この猫、和尚の袈裟を着込んで夜な夜なあたりの猫を集めて説法をしておった。それを和尚が見つけてしまい、「昨夜はご苦労であったな。さぞや眠かろう・・・」と言ったとたん猫はぶつっと姿を消してしまった。

その後、美麻千見の番所の下条家で葬儀があったが、出棺となると黒雲が湧き大荒れでどうしても葬儀を営むことができなかった。

そこに、旅の若僧が現れ、「古山の法蔵寺を頼めば必ず無事葬儀ができる」と言って去った。

そこで早々に法蔵寺に頼んだところ無事葬儀が執り行われ、それから下条家は法蔵寺の檀家になった。これはあの可愛がっていた猫の恩返しに違いないといわれている。



民話人形 (もんぺの会製作)

現在は、大町市指定文化財第73号有形文化財(建造物)となっています。

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う営業自粛等により、
特に大きな影響を受ける事業者の皆様へ

美麻商工会がサポートします

中小法人・個人事業者のみな様
売上が前年同月比50%以上減少したら
持続化給付金が申請できます。
給付金額は、
中小法人等上限200万円、個人事業主100万円。

お気軽にお出かけください。
相談は『無料』です。



電話番号 0261-29-2813

ただし、申請時のサポート（申請添付書類の作成、PC・スマホからの申請サポート）については手数料（申請額の1%から3%）を頂きます。

*また、小規模事業者持続化補助金という商工会等の助言を受けて経営計画を作成し、その計画に沿って地道な販路開拓等に取り組む費用の2/3を補助する制度もあります。補助上限は50万円です。

機械装置等購入費、広報費、展示会等出店費、開発費等事業の遂行に必要な経費に使用できます。

今回の締め切りは10月2日(金)ですので、今から本制度を利用することを考えてみませんか。

新会員の紹介

～ 一緒に地域づくりをする新しい仲間を順次紹介します ～

美麻・地域のエネルギーを考える会

昨年12月に白馬村で上映された映画「おだやかな革命」を鑑賞し、意気投合した美麻地区の5人の有志が、美麻でも自然エネルギーを活用しつつ、地域住民のつながりに結びつけばという思いから、「美麻・地域のエネルギーを考える会」（渡辺寛代表）を発足しました。

映画「おだやかな革命」では、人口減少や高齢化に悩む過疎地域で、小水力発電や薪ボイラーなどエネルギーの地産地消を目指して生活する人々の姿がいきいきと描かれています。当会で企画していた当映画の上映会は新型コロナウイルスの影響により、延期となっています。

現在は、美麻薪倶楽部（MMC）として二重市民農園に隣接した土場で薪原木の玉切りや薪割りの屋外作業を中心に活動中です。今後は、美麻地区でも地元の森林資源を生かした木質バイオマスボイラー等の導入が進むことを夢見ています。ご興味のある方は声をかけて下さい。



《地域の話題》

夏の交通安全 やまびこ運動 が始まります

「思いやり 乗せて信濃路 咲く笑顔」のソーガンの基。夏の交通安全運動が7月22日（水）から7月31日（金）まで行われます。

行楽シーズンで交通量が増える時期です、外出する子供や高齢者の交通弱者を保護するとともに、ドライバーへの交通ルールの厳守と正しい交通マナーの実践を呼びかけましょう。

交通安全協会 美麻支部



長野県交通安全協会「あんぎょーくん」

しあわせ信州

「インターネット」を使った取引にご注意

事例

広告に「お試し価格500円」と書かれていたサプリメントを注文し、500円を支払って飲んだ。しかし、その後頼んだ覚えがないのに同じ商品が届き、約4,000円を支払うよう請求された。確認すると、定期購入の契約になっていたことが分かった。

そんな覚えはないが、事業者には「利用規約に定期購入であると記載している。」と言われた。

アドバイス

- 購入前に、定期購入になっていないか契約条件を確認しましょう。特に、返品、解約の条件については必ず確認してください。
- 通信販売ではクーリング・オフ制度の適用がないため、特に注意が必要です。
- 広告や購入時の画面、事業者に連絡した記録などを残しておきましょう。
(防犯信州 令和2年5月15日号より抜粋引用)



つながれ地域のお店 ⑤

美麻地区のお店をリレーで紹介します。

solosolo

solosoloという名前で草木染め作家として活動し、草木染めの衣服をつくっています。

また、毎月1-6日にはone to sixという名前でお店を開いています。お店ではsolosoloのオリジナル衣服や布雑貨以外に近隣の作家のもの、そしてオーガニックのお茶なども販売しています。工房の中はいつも植物を煮出す香りがたちこめています。ぜひ覗きにお越しください。

電話 0261-85-0580

インスタグラム @welcome1to6, @solosolohome

ホームページ <https://www.solosolohome.com/>

住所 大町市美麻中村1170

営業時間 毎月1-6日のみ営業 10-16時



■ 編集・発行

美麻地域づくり会議

住所 大町市美麻11810-イ 電話29-2311 FAX29-2333 ・ 電子メール info@miasa.info